

アムンディ・ジャパン株式会社  
議案別議決権行使状況  
(2015年5月および6月に開催された株主総会における議案)

1. 会社提出議案に対する賛成・反対・棄権・白紙委任の議案件数

	賛成	反対	棄権	白紙委任	合計
a. 剰余金処分案等	1 0 7 3	4	0	0	1 0 7 7
b. 取締役選任	1 2 0 7	3 3 8	0	0	1 5 4 5
c. 監査役選任	1 2 6 5	1 1 5	0	0	1 3 8 0
d. 定款一部変更	7 8 4	3 7	0	0	8 2 1
e. 退職慰労金支給	1 8 0	2 3	0	0	2 0 3
f. 役員報酬額改定	4 8 9	1 0	0	0	4 9 9
g. 新株予約権発行	1 1 5	2	0	0	1 1 7
h. 会計監査人選任	1 0	0	0	0	1 0
i. 組織再編関連(※1)	2 3	1	0	0	2 4
j. その他会社提案(※2)	2 8	7 9	0	0	1 0 7
合計	5 1 7 4	6 0 9	0	0	5 7 8 3

(※1) 合併、営業譲渡・譲受、株式交換、株式移転、会社分割等

(※2) 自己株式取得、法定準備金減少、第三者割当増資、資本減少、株式併合  
買収防衛策(上記a~iの議案を除く)等

2. 株主提出議案に対する賛成・反対・棄権・白紙委任の議案件数

	賛成	反対	棄権	白紙委任	合計
合計	0	1 5 1	0	0	1 5 1

※「3. 議決権行使結果の概況」は、次のページに掲載しております。

### 3. 議決権行使結果の概況

資本コストに関する昨今の議論を踏まえ、2015年の議決権行使ではROE（自己資本利益率）が一定の基準を満たさない場合は代表取締役の再任議案に対して反対したため、会社提案のうち取締役選任議案の反対比率が高くなりました。昨年以降、独立性の高い社外取締役の選任がない場合は代表取締役の選任に反対していますが、今般策定されたコーポレートガバナンスコードを踏まえ、来年以降、複数の独立社外取締役の選任がない場合は、企業側から十分な説明がなされなければネガティブな判断とする方針です。

なお、従来はアクティブ運用における議決権行使結果のみ開示していましたが、本年度から他の運用戦略を含め全て開示しています。弊社は2015年5月末にスチュワードシップコードの受け入れ方針を改訂しています。議決権行使においては、コーポレートガバナンスの重要性を認識し、長期的な株主利益の最大化を目指し、全ての運用戦略において、ガバナンスに問題がある企業や、資本効率が長期にわたり低迷している企業などに改善を促す方針を明確化しています。